

LINK Smart

もたず、つながる時代へ

株式会社 サイバーリンクス
2026年12月期 第2四半期(中間期)
決算説明資料
(2026年1月1日～6月30日)

2026年9月4日

- 流通クラウド事業、官公庁クラウド事業、トラスト事業、モバイルネットワーク事業の4セグメントで事業を展開
- 「生活インフラを支える事業領域」での事業が中心で景気変動に強いポートフォリオ

1 流通クラウド事業



食品流通業に特化した
クラウドサービスを提供
今後の成長ドライバー

売上高 **53** 億円 経常利益 **7.7** 億円

2 官公庁クラウド事業



地方自治体向けの
DXソリューションを提供
地域密着と全国展開の2軸で展開

売上高 **84** 億円 経常利益 **12.0** 億円

4 モバイルネットワーク事業



和歌山県下の約半数の
ドコモショップを運営
安定収益基盤

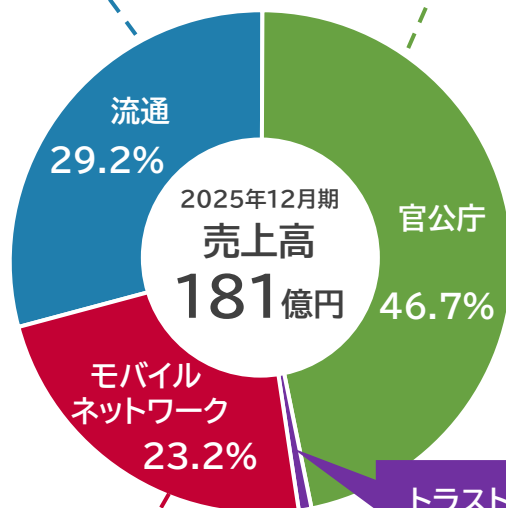
売上高 **42** 億円 経常利益 **3.7** 億円

3 トラスト事業 (2021年~)



マイナンバーカードを
ベースとした認証サービスや、
電子証明書発行サービスを提供
新しい成長の柱へ

売上高 **1.4** 億円 経常利益 **▲0.6** 億円



- 官公庁クラウド事業の各種案件の進行や、流通クラウド事業の各種サービス提供拡大等により増収、増益

売上高

過去
最高

101 億円

前年同期増減 +14.8%

2Q計画 達成率 99.6%

定常収入

過去
最高

47 億円

前年同期増減 +11.3%

2Q計画 達成率 103.2%

経常利益

過去
最高

14.4 億円

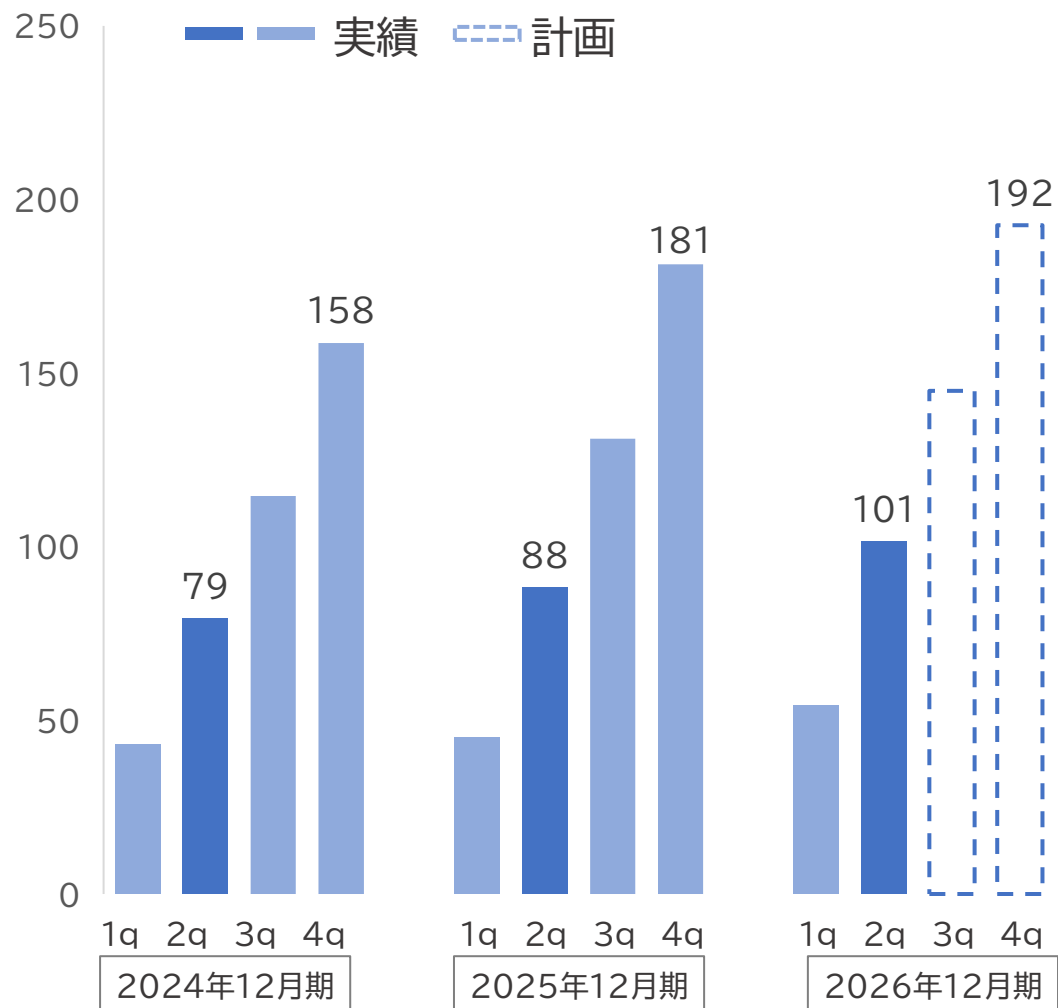
前年同期増減 +45.8%

2Q計画 達成率 105.1%

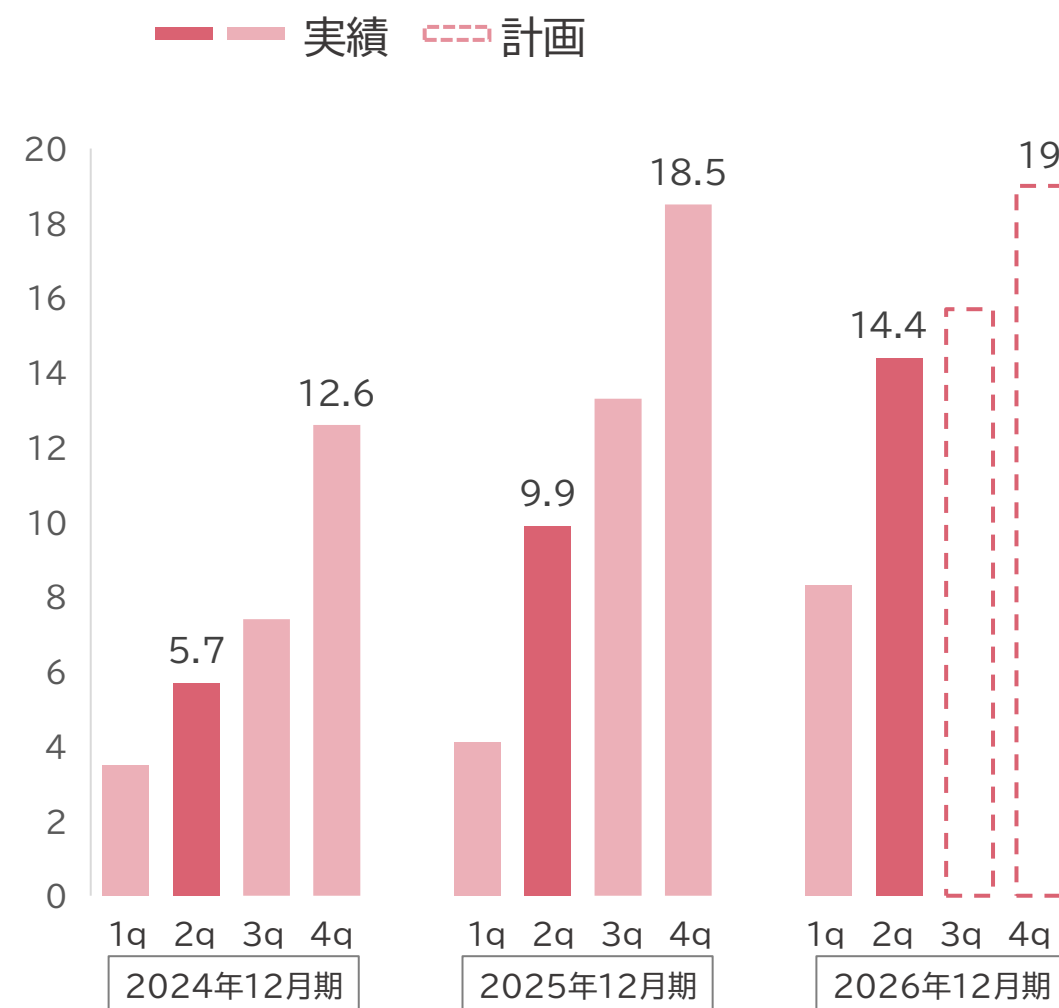
1. エグゼクティブサマリー 2026年12月期 第2四半期

- 売上、利益ともに、概ね上期計画通りに進捗。通期でも過去最高を目指す

売上高(累計) (単位:億円)



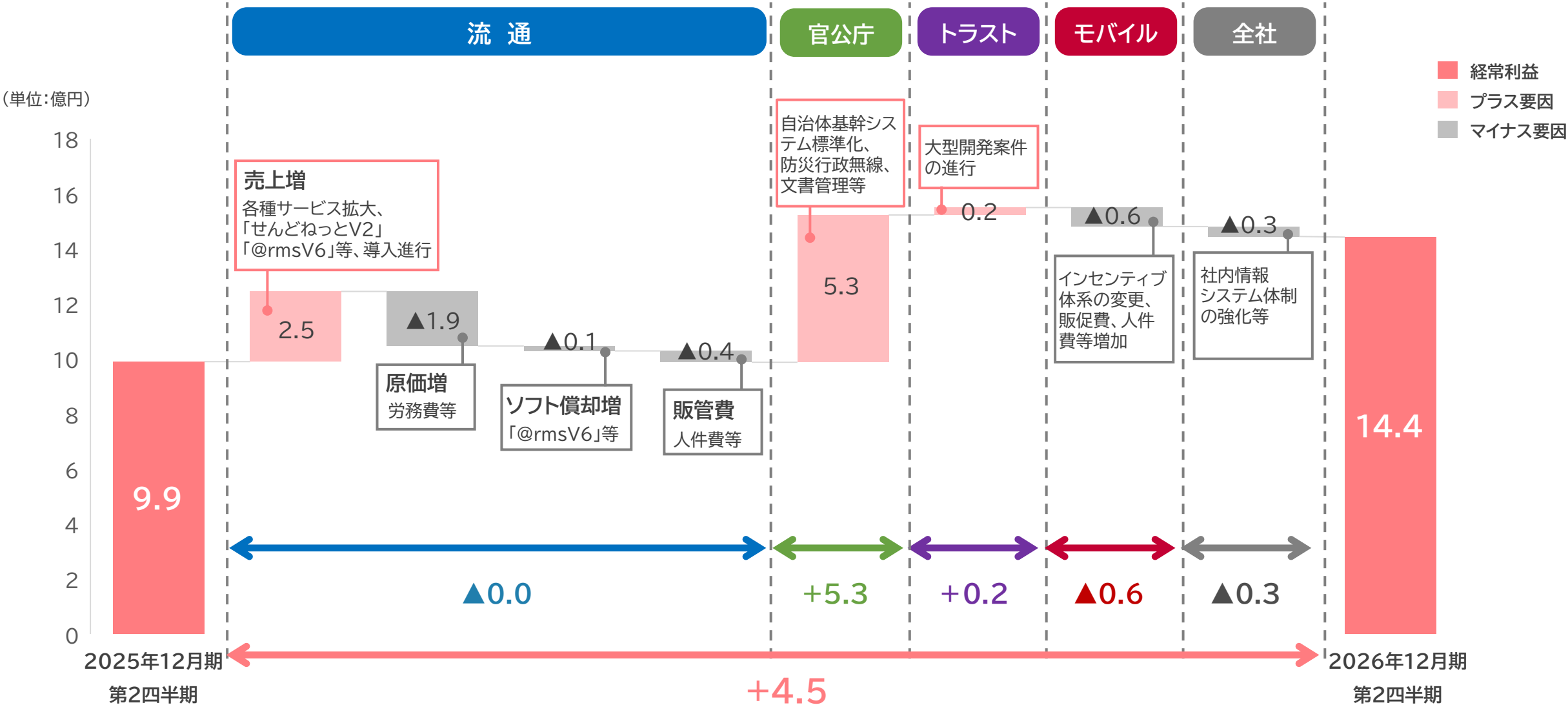
経常利益(累計) (単位:億円)



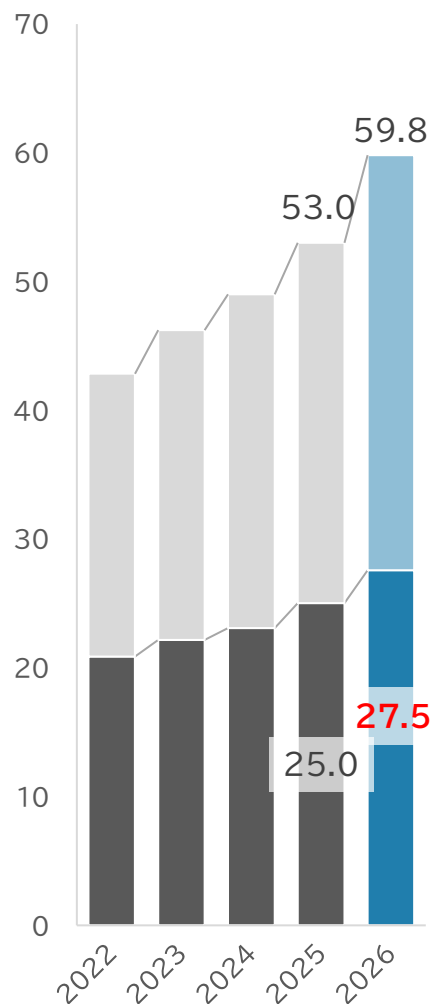
(単位:百万円)	2026年12月期 第2四半期 (実績)	2025年12月期 第2四半期 (実績)	前期同期比 増減率	2026年12月期 第2四半期 (計画)	達成率
売上高	10,160	8,849	14.8%	10,203	99.6%
流通クラウド事業	2,758	2,503	10.2%	2,835	97.3%
官公庁クラウド事業	5,125	4,148	23.5%	4,977	103.0%
トラスト事業	155	51	199.9%	194	80.3%
モバイルネットワーク事業	2,121	2,145	▲1.2%	2,197	96.5%
定常売上高	4,730	4,250	11.3%	4,585	103.2%
流通クラウド事業	2,188	2,102	4.1%	2,198	99.6%
官公庁クラウド事業	2,092	1,755	19.2%	1,955	107.0%
トラスト事業	41	39	6.5%	47	88.9%
モバイルネットワーク事業	408	352	15.9%	385	106.1%
営業利益	1,446	990	45.9%	1,382	104.6%
経常利益	1,443	990	45.8%	1,373	105.1%
流通クラウド事業	324	328	▲1.2%	386	84.1%
官公庁クラウド事業	1,232	697	76.7%	1,073	114.9%
トラスト事業	▲ 26	▲53	—	2	—
モバイルネットワーク事業	167	236	▲29.2%	187	89.5%
調整額	▲ 255	▲219	—	▲ 275	—
親会社株主に帰属する中間純利益	967	673	43.5%	930	104.0%
1株当たり中間純利益	87円12銭	60円34銭	—	83円96銭	—

2. 2026年12月期 第2四半期連結決算と通期見通し 経常利益増減要因

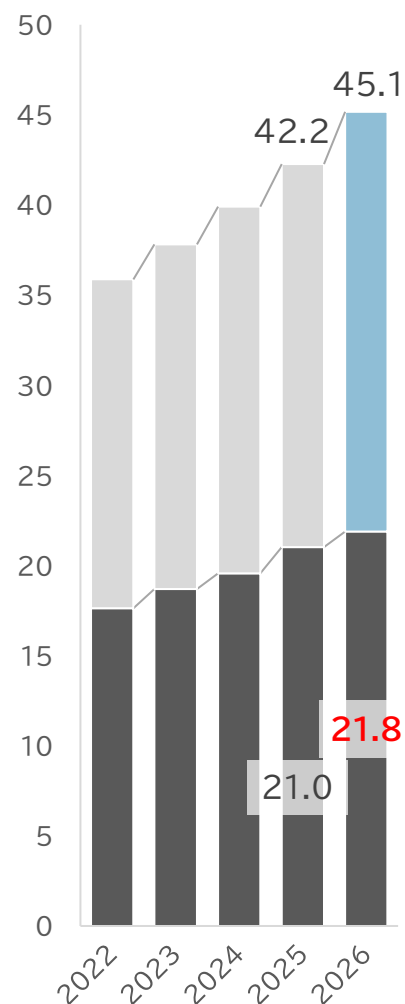
- 流通は、サービス拡大で増収も、新規導入案件の対応に向けた体制強化により労務費等が増加し、やや減益
- 官公庁は、自治体基幹システム標準化、防災行政無線、文書管理等の案件が進捗。増益に大きく貢献



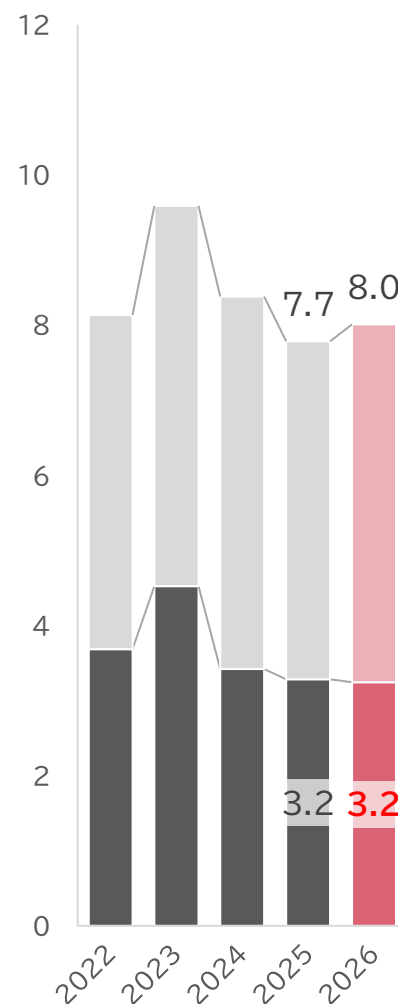
売上高 (単位:億円)



定常収入 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



2026年12月期 第2四半期累計実績

各種サービス提供拡大で増収も、新規導入案件の増加に伴う体制強化等で労務費が増加し、やや減益

- ◆ 中大規模スーパー向け基幹システム「@rmsV6」
新規2社で稼働開始 (2026年3月～)
- ◆ 「@rmsV6」「せんどねっとV2」等、
導入作業の進捗に伴う売上が増加
- ◆ 「@rmsV6」「自動発注」等、複数の新規受注を獲得
- ◆ 「クラウドEDI-Platform」
既存の大手顧客において、当社サービスへの完全移行を受注

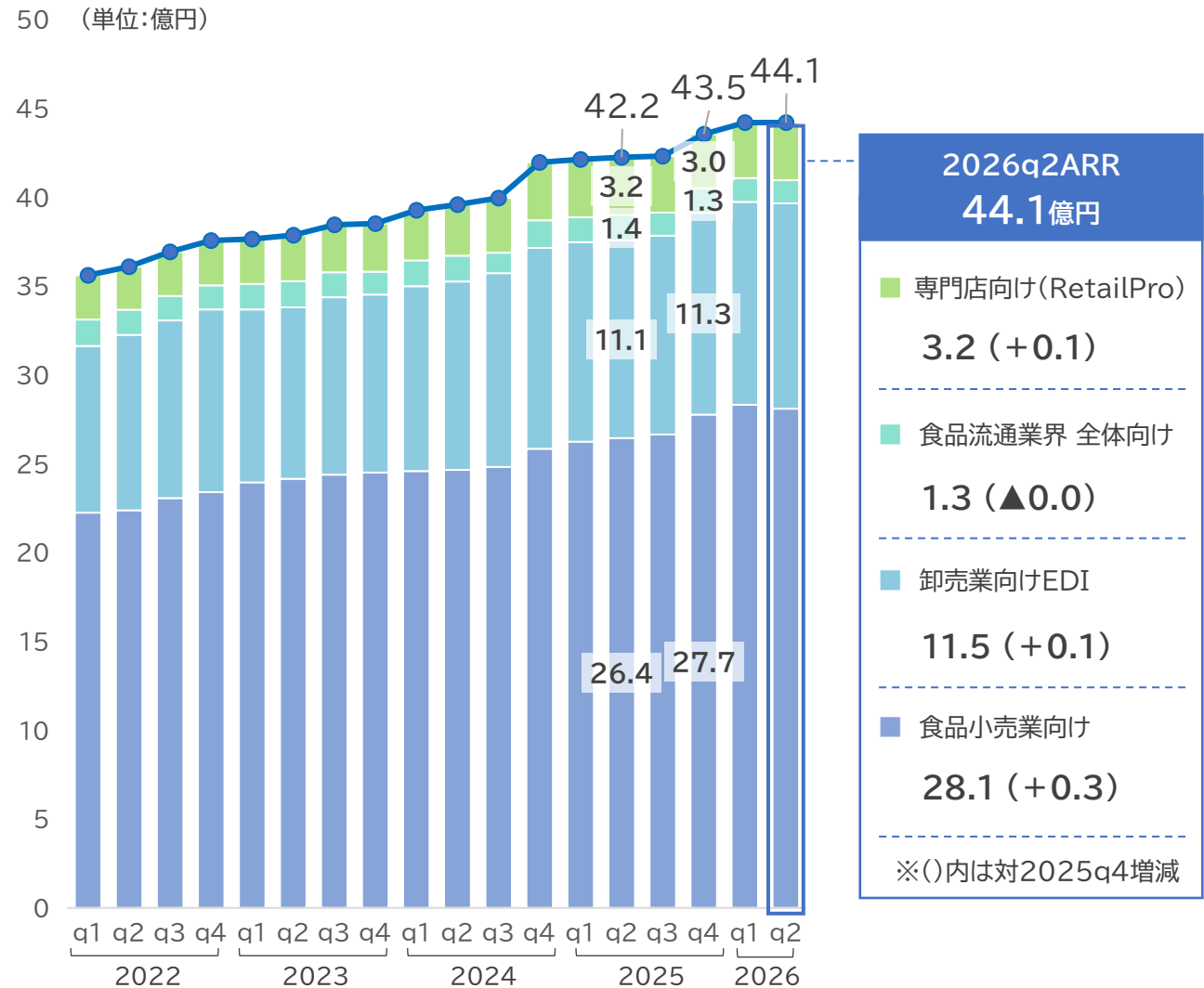
2026年通期見通し

一部導入に遅れはあるものの、着実に作業進捗
新規稼働に向けた体制強化等、先行投資フェーズが継続

- ◆ 「@rmsV6」
AI機能の搭載に向けた開発を推進
新規稼働に向けた導入注力
- ◆ サービス提供拡大による定常収入増加
「@rmsV6」「せんどねっとV2」「自動発注」
「クラウドEDI-Platform」等
- ◆ 専門店向け販売管理システム「RetailPro」
海外店舗で導入済みの既存顧客において、
国内店舗での導入作業が進行

■ 「@rmsV6」をはじめ、複数サービスの新規稼働によりARRが増加

ARR(各四半期末月の単月定常収入×12ヵ月)

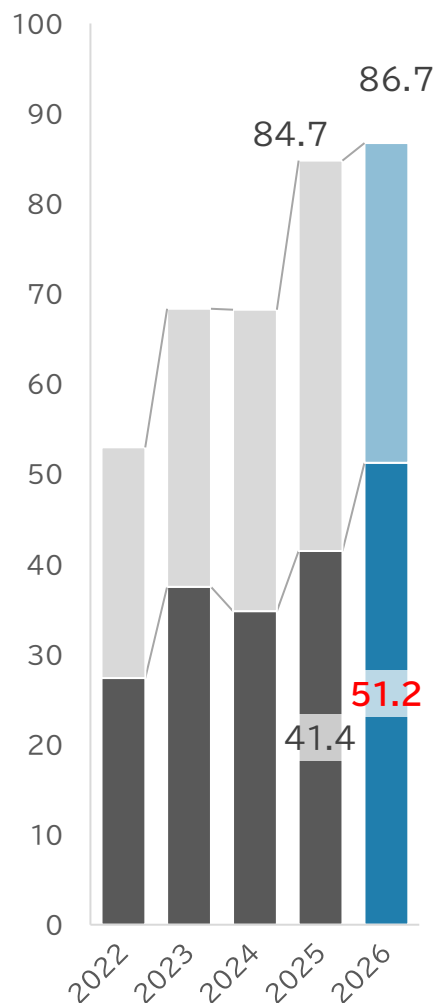


主要サービスKPI ※()内は対2025q4増減

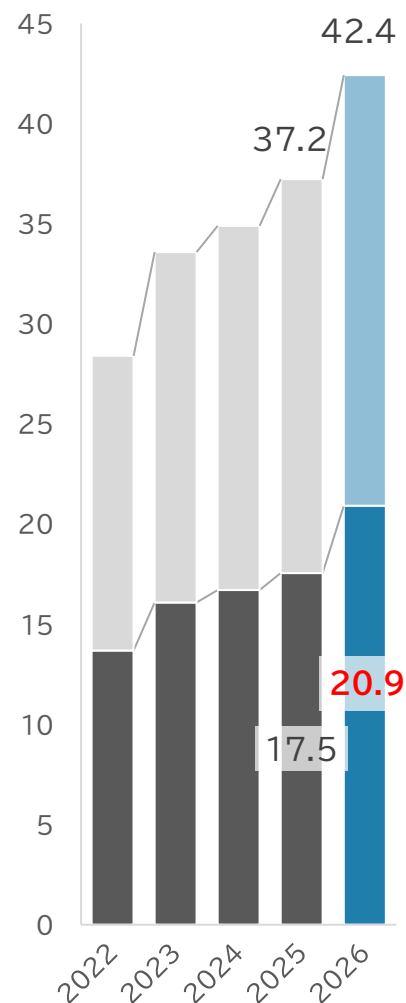
 基幹システム 導入店舗数	2025年 実績	2026年 2Q実績	2030年 中期経営計画
	1,219	1,283 (+64)	2,400
 C2Platform 導入ID数	2025年 実績	2026年 2Q実績	2030年 中期経営計画
	693	749 (+56)	6,500
 RetailPro 導入店舗数(※)	2025年 実績	2026年 2Q実績	2030年 中期経営計画
	海外 173 国内 41	191(+18) 40(▲1)	700 1,300

※海外進出している日本企業における導入店舗数

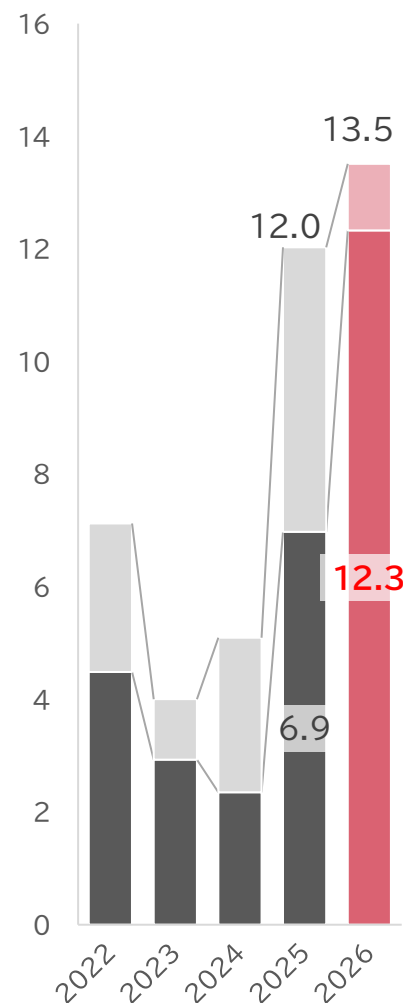
売上高 (単位:億円)



定常収入 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



2026年12月期 第2四半期累計実績

自治体DX、防災工事案件等が寄与し、増収、増益

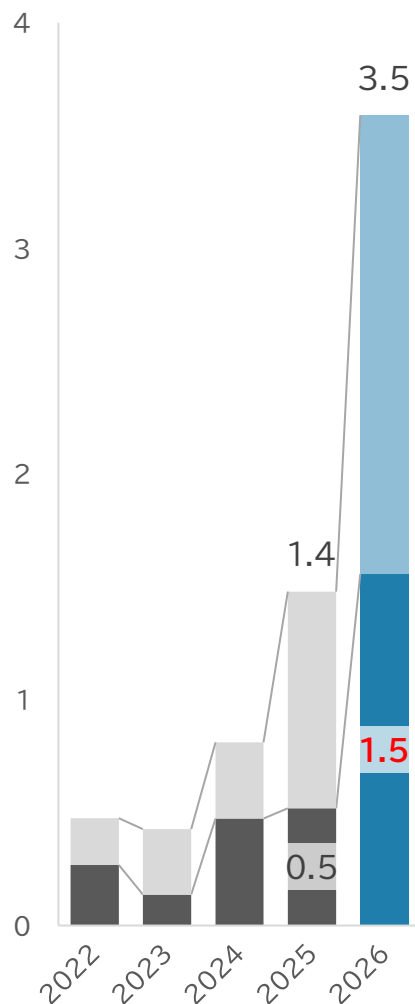
- ◆ 「自治体基幹業務システムの統一・標準化」関連案件、防災行政無線工事が大きく貢献し、増収、増益
- ◆ 「自治体基幹業務システムの統一・標準化」、文書管理「ActiveCity」の新規稼働、前期実施のM&A等が寄与し、定常収入が増加
- ◆ 自治体向けオンライン窓口「みんなの窓口」江戸川区で稼働開始
AIチャットボット機能をリリース
- ◆ 全国クラウドサービスの認知向上に向けた営業活動を推進
展示会出展を契機に、新規受注の獲得や商談案件創出が拡大

2026年通期見通し

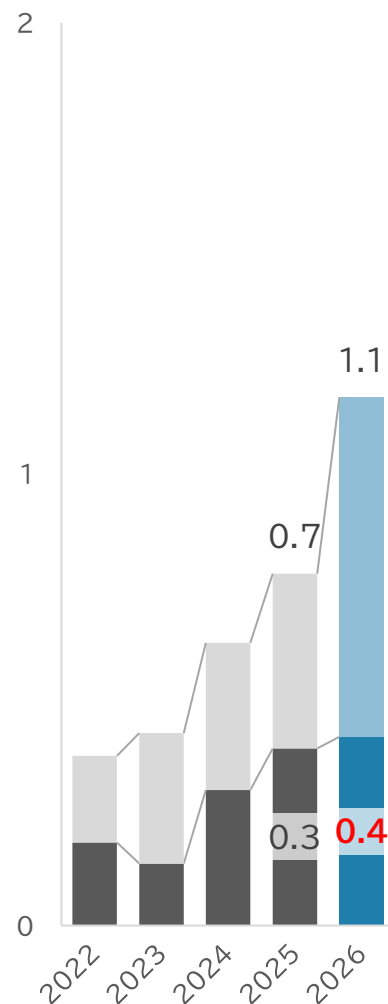
自治体DXを背景に増収、増益
通期計画上振れを目指す

- ◆ 「自治体基幹業務システムの統一・標準化」関連案件移行完了に伴う定常収入の増加
- ◆ 「みんなの窓口」「ActiveCity」へのAI機能実装に向けた開発を推進
- ◆ シナジー社取得に伴うソフトウェア償却(0.7億円/年)が前期で終了

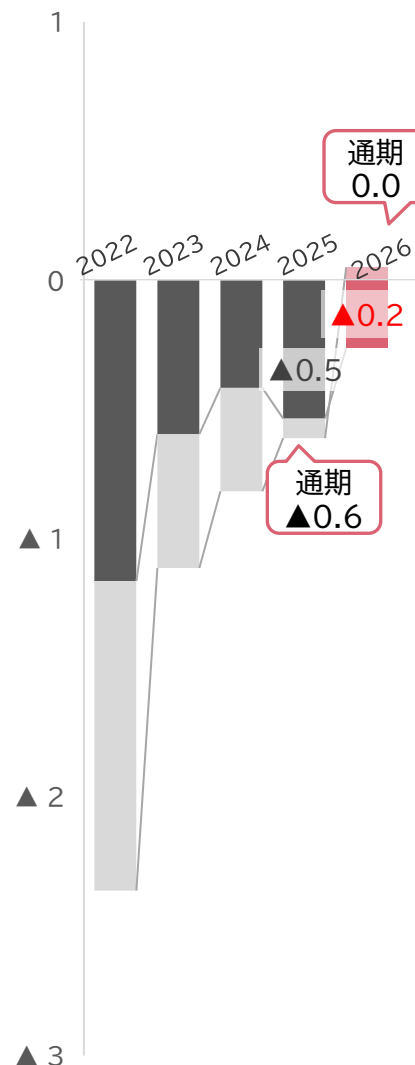
売上高 (単位:億円)



定常収入 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



2026年12月期 第2四半期累計実績

大型開発案件が寄与し、増収

- ◆ 国家資格の審査システムの受託開発案件が寄与
- ◆ 「CloudCerts」提供拡大
小規模案件を中心に複数の新規受注を獲得、発行開始
- ◆ 官公庁クラウド事業との連携による展示会出展等、新規顧客の開拓を推進

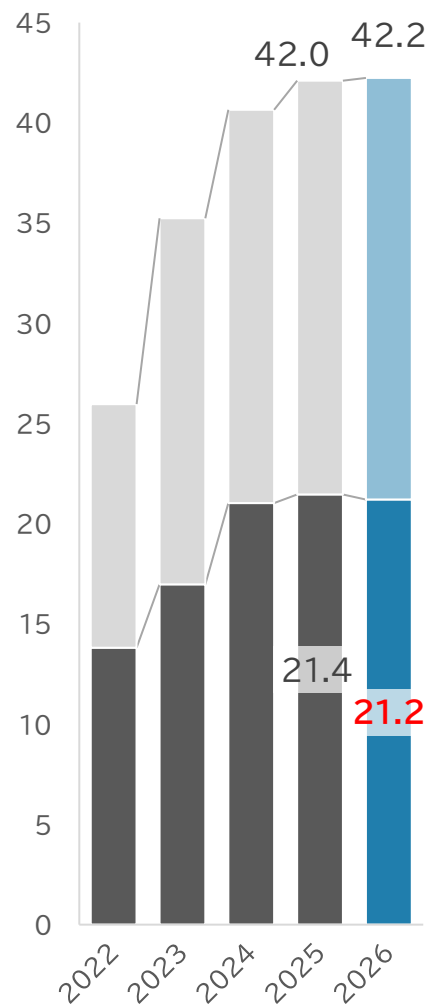
2026年通期見通し

「VC※」流通に向けた取組を加速

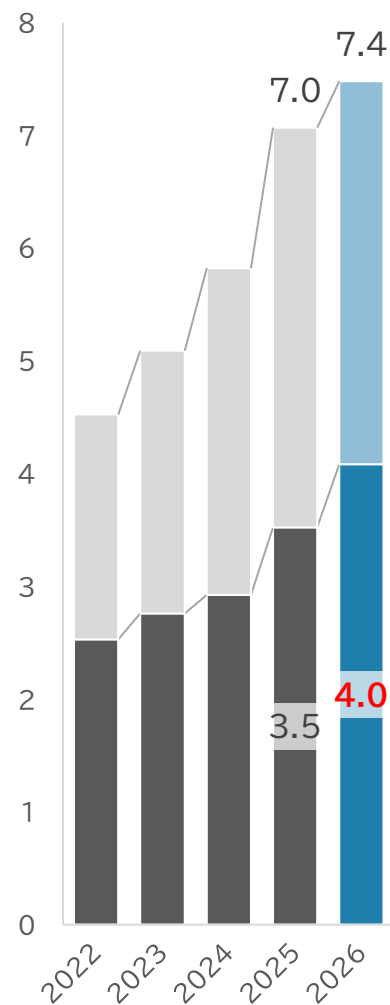
- ◆ 国家資格の審査システムの受託開発案件の進行
公益社団法人日本薬剤師会向け「薬剤師資格証申請サービス・審査システム」がサービス開始(2026年7月～)
- ◆ 「VC」流通に向けたプラットフォームの構築
eKYC(顔認証)サービスの営業推進
ウォレット構築に向けた取組を推進

※VC: Verifiable Credentialsの略称 デジタル署名による真正性・改ざん防止等の機能を実現することができ機械可読かつ汎用的なデータ形式(デジタル証明書)及びデータ流通の形態

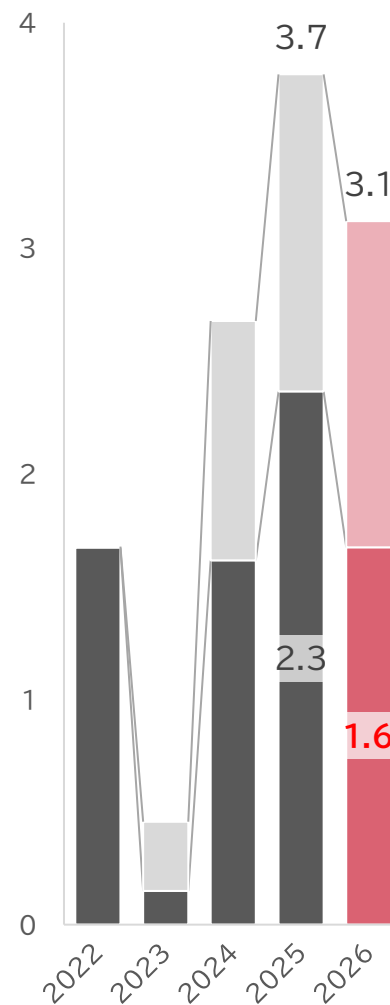
売上高 (単位:億円)



定常収入 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



2026年12月期 第2四半期累計実績

売上横ばいも、インセンティブ体系変更等により減益

- ◆ インセンティブ体系変更や、販売促進費の増加、給与水準引き上げに伴う人件費増等で減益
- ◆ 商圈バランスを考慮した店舗配置の最適化を実施
JR和歌山駅前店を閉店、イオンタウン貴志川店を開店
新たな商圈での営業体制を構築
- ◆ 本部に業務集約拠点を設置
オンラインでの店舗接客の運用を開始

2026年通期見通し

インセンティブ体系変更等の影響あるも、生産性向上を進め、計画達成を目指す

- ◆ 出張販売、新規エリアの開拓等、営業活動に注力
- ◆ 店舗運営の生産性向上に向けた取組推進
本部業務集約拠点での対応業務の領域を拡大し、さらなる店舗運営の効率化を推進

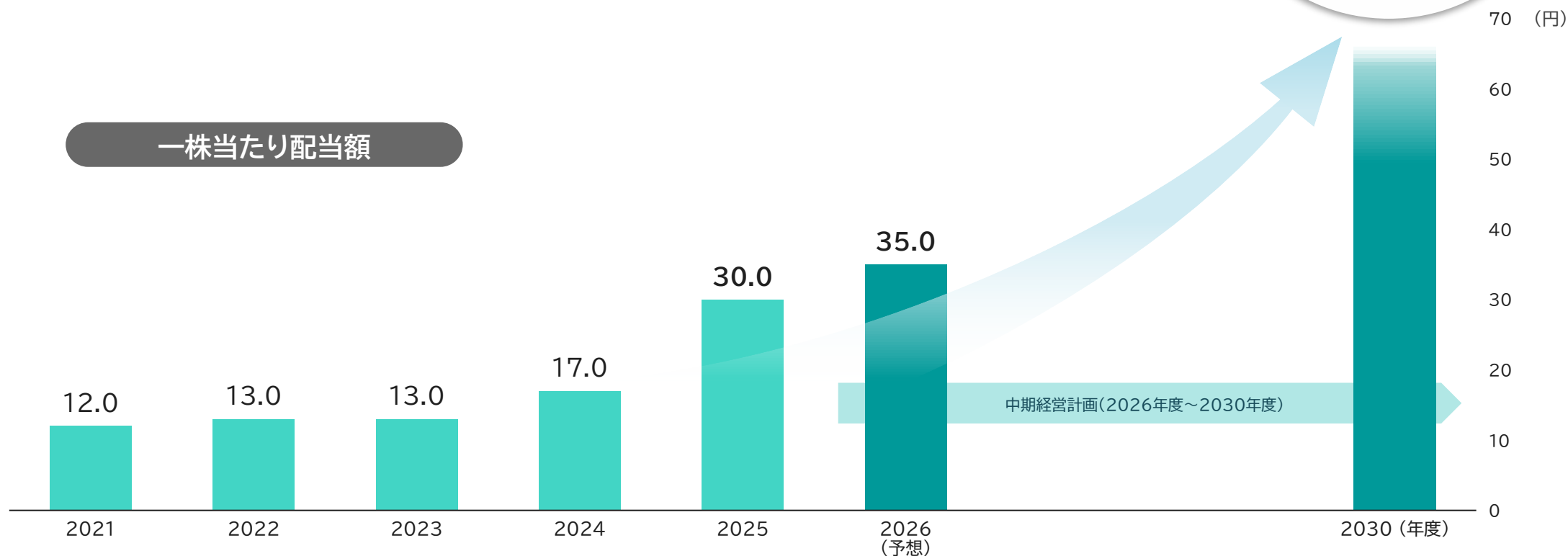
株主還元の方針

事業成長に向けた投資を積極的かつタイムリーに行うために
必要な内部留保を確保しつつ、中期経営計画の進捗による業績向上、
収益性の向上(キャッシュフローの改善)にあわせて、
配当性向、及び一株当たり配当額の引き上げを行ってまいります。

還元の基本姿勢

累進配当の継続、
配当性向の引き上げ

一株当たり配当額



- 「X (旧 Twitter)」や「IR note マガジン」の運用など、当社の取組をリアルタイムにキャッチいただけるコンテンツを展開
- シェアードリサーチ社による企業レポートも公開

X (旧 Twitter)



ユーザー名：@CyberLinks_3683

https://x.com/CyberLinks_3683



IR noteマガジン

note

https://note.com/cyberlinks_note



シェアードリサーチ



<https://sharedresearch.jp/ja/companies/3683>



WiLL makes anything すべては思うことから始まる—



本資料に関するお問合せ
株式会社サイバーリンクス 経営企画課

<https://www.cyber-l.co.jp/inquiry/>

■本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

WiLL makes anything